

(1日本史プリント4-8)

## 第6章 幕藩体制の確立 1, 織豊政権

### a.ヨーロッパ人の東アジア進出と南蛮貿易・キリスト教

①[1 15]世紀末以降、大航海時代の開始=ヨーロッパ人のアジア進出

1543年ポルトガル人、[2 種子島]に漂着、[3 鉄砲]伝来→以後、日本との貿易活発化  
つづいて1584年[4 スペイン]人も  
※鉄砲の普及→戦術の変化(騎馬戦→[5 足軽鉄砲隊]の登場・城の構造の変化)

②1549年[6 フランシスコ=ザビエル](イエズス会)、キリスト教を伝える  
→[7 天皇][8 将軍]に布教許可を取ろうとする。

以後キリスト教宣教師の来日、各地にキリスト教を布教→キリシタン大名の誕生  
([9 大友義鎮]・[10高山右近]など)  
イエズス会の布教→[11 戦国大名]などの改宗による上からの布教をめざす。

[12 西洋文化]の紹介・[13 貿易]の利権など  
社会事業や医療活動にも従事、教会=「南蛮寺」、学校(セミナリオ)などを建てる

③西国の諸大名ら、[14 貿易の利益]をもとめ、キリスト教を保護(大内義隆や大友義鎮・大村純忠)  
→キリスト教徒への改宗=キリシタン大名の出現 →[15長崎]を寄進

↓  
九州の三大名(大友・大村・有馬)、少年使節をローマ教皇に派遣([16 天正少年遣欧使節団])

④[17 南蛮]貿易

1) [18 鉄砲]・火薬・毛織物、中国産の[19生糸]、南方産の[20 香辛料]などを輸入  
→[21 銀]([22 石見]銀山などで採掘)・刀・硫黄、さらに[23 人間(奴隷)]を輸出

2)[24 南蛮キリシタン]文化の流入  
様々な実用的な学問(天文学、医学、地理学)、西洋画の画法(→[25 南蛮屏風])  
[26 活版印刷]術(キリシタン版・天草版)→[27 日葡]辞典の出版  
たばこの普及・

### b, 織田信長の台頭

①戦国の争乱(15~16世紀)

→16世紀中期、広い領国を支配する有力な[28 戦国大名]の台頭  
大内氏(中国地方)→陶氏→、[29 毛利元就]  
尼子氏→  
[30 (後)北条]氏(関東)、[31 上杉謙信](越後)、[32武田信玄](甲斐)  
[33 今川義元](駿河)、長宗我部氏(四国)、[34 島津]氏(南九州)  
遅れて[35 伊達政宗](東北)

②尾張(愛知)の[36 織田信長]の台頭(←守護斯波氏の[37 守護代]の家柄)  
1560年、今川義元を[38 桶狭間]の戦いで破り有力化→1567年美濃(岐阜)を征服  
(「天下布武」の印章を用いる)

1568年、[39足利義昭]を奉じて京都にはいり、[40 将軍]に立てる

③有力な諸勢力との戦い

・有力戦国大名

[41 浅井]氏(北滋賀)・[42 朝倉]氏(福井)→1570 姉川の戦いで破る  
[43 武田]氏(山梨)→長篠の戦い(大量の[44 鉄砲]を効果的に使用)

・旧来の[45 寺社]勢力との戦い→[46 比叡山延暦寺]の焼き討ち

・民衆の支持をえた勢力=[47 一向一揆]との戦い(長島の一揆鎮圧 石山戦争1570~1580)

・1573年、将軍足利義昭を追放([48 室町幕府]の滅亡)

⑤織田信長の政策の特徴

1)先進地帯の[49 近畿地方]の掌握、琵琶湖畔に[50 安土]城を築く

2)[51 検地]による土地調査

3)織田信長の革新性=伝統的な政治・経済の秩序や権威に挑戦し破壊する

→キリスト教保護や[52 鉄砲]の活用

4)経済の育成統制=安土での[53 楽市楽座]令、[54 堺]を征服、直轄化

領国内での[55 関所]の廃止・銭令の実施=経済の活発化を図る

↓

⑥1582年、部下の[56 明智光秀]の反乱により敗死([57 本能寺]の変)

戦国大名のなかで全国統一の野望を実行に移したのは[58 尾張]の織田信長であった。信長は1560(永禄3)年に[59 今川義元]を桶狭間の戦いで破り、1567(永禄10)年に美濃の[60 斎藤]氏を滅ぼして岐阜城に移ると天下統一の意志を明らかにした。翌年信長は、畿内を追われていた[61 足利義昭]を立てて入京し、かれを[62 将軍]職につけて、全国統一の第一歩をふみ出した。

1570(元亀元)年、信長は[63 姉川]の戦いで近江の浅井氏と越前の朝倉氏を破り、翌年には[64 比叡山延暦寺]の焼打ちをおこない強大な宗教的権威を屈伏させた。1573(天正元)年には、信長に敵対した[65 義昭]を京都から追放して[66室町幕府]を滅ぼし、1575(天正3)年の三河の[67長篠]の戦いでは、鉄砲を大量に用いた戦法で、騎馬隊を中心とする強敵[68武田勝頼]に大勝し、翌年近江に壮大な[69安土]城をきざきはじめた。

しかし、信長の最大の敵は[70 石山本願寺]を頂点にし、全国各地の浄土真宗寺院や寺内町を拠点にして信長の支配に反抗した[71 一向一揆]であった。信長は、1574(天正2)年に[72 伊勢長島]に一向一揆を滅ぼしたのに続いて、翌年には越前の一向一揆を平定し、1580(天正8)年、ついに[73 石山本願寺]を屈伏させた。